



創世会
野口 安男

農業推進の成果と今後の取り組みは

Q 掛川市の農業推進で、主に、掛川茶の販路拡大、耕作放棄地対策、多面的機能支払交付金について成果と今後の取り組みを伺う。

さらに推進をしていく

A 掛川茶の販路拡大については、掛川茶ひろめ隊の活動により、東北地方5市の茶商から取引相談があり、農協や茶商等へ繋ぐことができました。また、北陸東海や近畿地区でスーパー500店舗を展開する商社等と掛川茶の取引が開始され、成果が出ています。今後消費と販路拡大に向け、進めていきます。

耕作放棄地対策については、耕作放棄地と見込まれる所有者等への今後の意向を調査しました。その成果として、所有者の草刈り等により耕作放棄地の減少につなが

りました。今後はさらに市単独の補助金を活用し、解消につなげていきます。

多面的機能支払交付金については、地域を挙げて守る活動が促進され、農地に関する環境保全や農業施設の維持に貢献しています。今後は、市域全体に広めていくため、新規活動組織の増加に努めていきます。



多面的機能支払交付金による草刈り作業

キャリア教育についての教育長の考えは

Q キャリア教育は、児童生徒が自立を指していくための能力や態度を身に付けていくものである。教育長は、このキャリア教育をどのように考えるか伺う。

重要であると捉える

A 生涯自立し学び続け、新たな夢や目標を持ち続けるキャリア教育は重要であると捉えています。

王将戦と将棋によるまちづくりの今後に関して

Q 掛川開催の王将戦も来年10周年を迎える。将棋によるまちづくりをより進めるため

に市内全小学校に将棋盤・駒の設置をする考えはないか。



昨年の王将戦の様子(掛川市提供)

市内小学校への将棋盤・駒の設置を検討する

A 将棋が教育にもたらす効果として、集中力、忍耐力、判断力、礼儀作法の向上が考えられるので、より多くの子どもたちが将棋を楽しむ、その魅力に触れることができるよう市内小学校への将棋盤・駒の設置について検討します。



創世会
山本 裕三

掛川市人生100年時代構想における今後の方針に関して

Q 市で策定が進められている人生100年時代構想の実現に向けて、今後市長は現役世代をどのように考えるか、そして構想のポイントを伺う。

「健康」「学び」「働き」をポイントに政策に活かす

A 人生100年時代を考えると、後半生を学び直し、生きがいや働きがいを持ち充実させることで、現役時代が長く続き市民のみなさんが「生涯現役」として活躍されることを願っています。

構想のポイントは「健康」、「学び」、「働き」であり、「健康」は生涯お達者、「学び」はリカレント教育などライフスタイルに応じた学び、「働き」は人生100年の中で何度でも役割を担えることなどが重要と考えています。これらを今後の政策に活かしていきます。

※学校を卒業し就職した後も、必要に応じて教育を受けること